

■ポーランド：原子力導入は2030年以降に延期か

2016年7月13日発行の専門誌によると、ポーランドの大手エネルギー事業者PGEのバラノウスキ社長は、「当社は投資計画を修正することから初の原子力発電所建設は早くても2030年以降になるだろう」と述べた。また、「確かなことは、現在の市場環境では建設資金の調達ができない。原子力発電所を建設するための最適な資金調達モデルの開発が必要で、投資家とのより深い対話が求められている」としている。2014年1月に経済省が発表した計画では、2024年までに原子力発電所が運開するとされていたが、建設コストの上昇や資金調達の困難さから建設計画はこれまで何度か延期されている。